

研究に関するお知らせ

— 腎移植を受けられた患者さんへ —

金沢医科大学病院では、腎移植患者さんの治療法のさらなる発展のため、以前に採取させて頂いた血液や画像を研究目的で使用する場合があります。このような研究は倫理委員会の審査を受け、承認された後に関連の研究倫理指針に従って実施されます。

研究参加期間: 倫理委員会審査承認後 ～ 2020 年 3 月 31 日

【研究課題】 当院の腎移植患者における骨格筋量および血清マーカーについての検討

【研究目的】 筋肉量が加齢や病気により減少し、全身の筋力低下および身体機能が低下することをサルコペニアといいます。高齢の患者さんにおいて生命予後に影響する重要な病態であり、腎移植患者さんも例外ではありません。また腎移植患者さんは移植前に末期腎不全となり透析療法を受けていることから、健康な方と比較しより低い年齢から筋肉量が減少している可能性があります。本研究の目的は血清マーカー(アディポネクチンおよびマイオスタチン)および腹部CTにおける筋肉量を測定することで、サルコペニアを早期より診断し栄養指導および運動療法を適切な時期に介入できるようにすることが目的です。

【対象・研究方法】 対象となる患者さんは、当院で腎移植を受けられた患者さんが対象となります。今後、本研究のために新たに予定されている検査はなく、すでに採取させて頂いた尿・血液、理学所見および移植腎の評価のために撮影させていただいた腹部CT画像を使用させていただきます。研究方法は保存検体を使用し、アディポネクチンおよびマイオスタチンという筋肉より産生される血中のホルモンを測定し、腹部CTにおける筋肉量との関連について評価します。さらに筋肉量と移植腎機能および心血管合併症との関連についても評価を行います。

【研究機関名】 金沢医科大学病院

【個人情報の取り扱い】 収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたしますので、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

【その他】 この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。また研究の対象となる患者さんに謝金はありません。

この研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。

ご自身の検査結果など研究への使用をご承諾いただけない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 足立 浩樹 金沢医科大学 医学部 腎臓内科 臨床准教授

研究担当者: 宮竹 敦彦 金沢医科大学 医学部 腎臓内科 助教

住所: 石川県河北郡内灘町大学 1-1 TEL 076-286-2211(内線:3403) FAX 076-286-2786

※ご連絡の際には、お名前／金沢医科大学病院の診察券番号／拒否する研究のタイトルをお知らせください。